

平成27年度第2回さぬき市コミュニティ放送番組審議会 会議要旨（要約）

1 日 時 平成28年3月7日（月） 午後3時00分から午後4時30分まで

2 場 所 寒川公民館 1階 第3会議室

3 出席者〔委員〕池本正文 岩崎崇 金岡エミ子 廣瀬強 福西マリコ  
藤井可郭 堀尾全一 松下肇 森安啓子

〔事務局〕地域情報課長 水次浩二

副主幹 古市泰彦 主任主事 横田雄介

〔傍聴〕0名

- 4 議 題
- (1) さぬき市コミュニティ放送自主放送番組編成について
  - (2) 文字放送・データ放送について
  - (3) 番組審議会答申（案）について
  - (4) その他
    - ①放送法に基づく報告について
    - ②参考資料

5 会議の内容は、次のとおりである。

発言者	意見概要
(会 長)	平成27年度第2回さぬき市コミュニティ放送番組審議会を開会いたします。 (会長挨拶)  つづきまして、水次課長に挨拶をお願いします。 (水次課長挨拶)
(事務局)	はじめに会議の公開・非公開についてお諮りいたします。 この会議は、さぬき市まちづくり基本条例、さぬき市情報公開条例、さぬき市コミュニティ放送番組審議会規則で定めるところにより、会議は特に非公開にしなければならない事項を除き、原則公開するということになっております。本審議会もそれに従い公開で進めさせていただきますが、よろしいで

	<p>しょうか。</p> <p>(異議なし)</p>
(事務局)	<p>特に意義もないようですので、公開での会議とします。本日の傍聴はございませんのでこのまま進めさせていただきます。</p>
(会長)	<p>では、はじめに議題1「さぬき市コミュニティ放送自主放送番組編成」についてです。先に内容説明を事務局からお願いします。</p>
(事務局)	<p>さぬき市コミュニティ放送自主放送番組について資料に基づき説明</p>
(会長)	<p>ただいま、さぬき市コミュニティ放送自主放送番組についての説明を受けました。これについてご質問・ご意見ありましたらご発言をお願いします。</p>
(委員)	<p>現在市民ディレクターは高齢化してしまって、2、3人ほどしか投稿していないような現状です。来年度、市民ディレクター制度について事務局として考えていることはあるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>確かに、現在投稿していただいているのは2、3人の限られた方になっています。しかしながら、この審議会でも市民ディレクターと協力した番組づくりを求める意見や事務局側も人員の減少で取材の件数も減ってきていますので、そういったところをカバーしていただきたいという意味でも制度としては残していきたいなとは思っています。ただ具体的な活動や運用については、市民ディレクターの方の意見を聞きながら、再編成ということも含めて検討したいと思います。</p>
(委員)	<p>あと11月からきている委託カメラマンについて説明してもらえますか。</p>
(事務局)	<p>番組制作会社からきていただいているカメラマンで、平日のニュースの取材や議会中継などを手伝っていただいております。元々カメラマンの方なので即戦力として、1日に2本、3本と取材に行っていただくこともあり、事務局側としては大変助かっています。</p>
(会長)	<p>今年度2月までのSCNニュースの取材件数が662件ということですが、ニュースの素材は市内の各所にあると思うのですがスタッフの数の関係で取材が出来ない、その補完というのは市民ディレクターでするにしても、</p>

	<p>編集は事務局がしないといけないという、要は人的面の対応というのは必要だという問題は残っているのではないかと思います。視聴者、市民としては取材の本数、情報というのはい多い方がいいと思いますが、それができない要因があるということも理解して、当局に要求していかなければならないと思います。</p>
(事務局)	<p>同じ時間に取材があれば、人数が多いと2班に分かれて行くなどの対応ができますが、どうしても人数が減ると物理的に取材に行けないということもあります。</p>
(会 長)	<p>市民ディレクターは今何人いるのでしょうか。</p>
(事務局)	<p>登録しているのは13人です。</p>
(会 長)	<p>先ほどもあったように、市民ディレクターによって、たくさん投稿する人そうでない人がいます。取材していただいたものはたくさん放送していただけたらと思いますが、これまでに市民ディレクターが投稿したものを放送しなかったという事例はあるのでしょうか？</p>
(事務局)	<p>放送をしなかったということはございません。</p>
(会 長)	<p>他に意見はございませんか。ないようでしたら次に「文字放送・データ放送」についてを議題といたします。事務局から説明をお願いします。</p>
(事務局)	<p>文字放送・データ放送について資料に基づき説明</p>
(会 長)	<p>議題2の文字放送・データ放送についてご意見・ご質問ございませんか。</p>
(委 員)	<p>文字放送やスポンサー放送で電話番号を読むとき、番号の最後の数字を長く伸ばして読む傾向があるので注意してほしい。</p>
(委 員)	<p>確認して対応します。</p>
(事務局)	<p>ニュースを見ても、文字放送やスポンサー放送を見る人は少ないという声を聞きます。そのためスポンサー放送を出してもあまり変わらないと思うのが普通だと思います。スポンサー放送お願いするよりはチラシを入れたりす</p>

	<p>るほうがより効果があると考えているようです。</p>
(事務局)	<p>スポンサー放送に関しては1日のうち文字放送という番組枠を設けて流しており、民放などのCMのように番組の間に流れるようなものになっていません。そのため興味がない人はニュースなどの番組は見ていただいても、文字放送の番組になればチャンネルを変えてしまうということはあるかと思えます。番組の間に流すというのは、今のコミュニティ放送の体制や番組編成上番組の間にCMを入れるというのは難しいところがありますが、放送を依頼していただけるよう、スポンサーにとって魅力的な放送の仕方というのでも考えていきたいと思えます。</p>
(会長)	<p>他にありませんか。では次に議題3に移ります。では「番組審議会答申(案)について」事務局の説明を求めます。</p>
(事務局)	<p>番組審議会答申(案)についてを説明。</p>
(委員)	<p>2-③のについてはきつい口調で強調する表現にしたほうがいい。これまでの嘱託職員については、定着していないということは適任者を採用していないということ。やる気のある人、好きな人でないといけない。答申書でいくら要望を並べても、人材と予算がないと何もできない。</p> <p>嘱託職員の採用は誰でもいいから、頭数だけそろっておけばいいという考え方ではいいニュースはできない。</p>
(事務局)	<p>人事、予算の配置については毎回、一般事務とは異なり、カメラマンという職種は特殊なので十分考慮した配置を要望していますが、なかなか結果としてそれが反映されていないのが現状です。</p>
(委員)	<p>市としてコミュニティ放送をどういう位置づけをしているのか。軽くみてただ流しておけばいいというところがあるのでは。予算をとるにはどれだけ必要とされているかを十分に説明してもらわないといけない。</p>
(委員)	<p>毎年同じことの繰り返しになっていると思います。</p>
(委員)	<p>そんな感じですね。</p>
(委員)	<p>今回の答申はこれまでとは違うというところをアピールしていかないとい</p>

	けない。
(会 長)	2-①、②、③についてはこの場で決めるのは難しいので、事務局と会長にお任せいただいて、検討して答申させていただいてよろしいでしょうか。
(委 員)	異議なし。
(会 長)	次に3（1）の番組編成について意見のある方お願いします。
(委 員)	歴史や文化、何かおもしろいもので最初から最後まで、完璧な番組ということではなくて、例えばこういうような説があるというものでも紹介できるような番組があっても面白いのではないかと思います。その時その時の話題性のあるものも、ある程度アンテナを張っておけばあるかと思えます。例えば、今NHKの朝ドラ主人公のお姉さんの「はつ」さんが実は津田にきているという話がある。津田に嫁入り道具があるらしい。そのような話があればパツとって、例え頭をかくような話であっても、大したものでもなくとも1つの地域の歴史として面白味があるのではないかと思います。
(委 員)	コミュニティ放送の視聴者というのは減っているということはないのでしょうか。
(事務局)	どれくらいの方に見ていただいているかについては、視聴率をとっているわけではありませんので正確な数字は把握できていませんが、取材等で市民の方と話をさせていただいている中では、ある程度の方には見ていただいているのではないかなと感じています。
(委 員)	ニュースに関してはたくさん情報がありすぎて、何をみていいのか分からない時がある。制作側としては何をみてもらいたいとかはあるのでしょうか。
(事務局)	これまでに審議会でも色々と指摘や要望のあったように、ニュース以外の1つのことを掘り下げたような番組を作ったたくさんの方に見ただけからという思いはありますが、現在は限られた時間と人数の中である程度の情報をお伝えできるニュースに偏ったものになっています。
(委 員)	今頃市内でも新しい家が多く建っていますが、コミュニティ放送への加入率はどのような状況ですか。

(事務局)	ケーブルテレビからピカラに移行しており、新たな契約状況等は把握出来ていません。
(委員)	現在の加入者は旧大川町、旧寒川町、旧長尾町では合併前から、旧志度町と旧津田町の2町も合併から10年以上が経過し、加入者は高齢化していると思います。そういったこともあって中々番組を見ていただけていないのではないかと思います。
(委員)	ニュースに出ると何人かからは見たよという話はされるので、ある程度の方は見てくれているのではないかと思います。私自身も委員ということではなく、見ています。最初のニューストピックを見て、どれを見ようか考えています。
(会長)	今日が任期中最後の会となりますので一通り委員の意見を聞かせていただきたいと思います。
(委員)	先ほどの「はつ」さんの件ですが早めに取り掛かったらいいと思います。
(委員)	醸造元で明治以降名前が残っていて、町史にも出ている人です。もしかすると「はつ」さんの直系ではないかもしれませんが嫁入り道具はあるということです。1つ探っていくのも面白いと思います。
(委員)	あと天体望遠鏡博物館ですが、今まで全国のケーブルテレビに流したことはありますか。
(事務局)	これまでに他のケーブルテレビ局で放送していただいたことや放送を依頼したことはありません。
(委員)	あれは全国で初めての博物館なので、他のケーブルテレビでも流してもらえるような番組を作らないといけないと思います。せっかくのチャンスなので売り込んでください。やはりそのためには人が必要ですね。
(委員)	何を改善するにしてもやはり予算と人員です。
(委員)	他のケーブルテレビ局でも流すことはできるのですか。

(委員)	CMSの放送を見ていると長野県のケーブルテレビの番組が流れていました。
(委員)	天文関係は好きな人は本当に好きなので、ニュースだけでなく番組にしてもらえたらと思います。
(委員)	テレビはやはり皆さん面白いものを見たいものだと思います。民放でも苦勞されているところはあって、その中で見てもらうために一生懸命取り組んでいるのだと思います。いいものを作るには時間や手間、先ほど言われたようにお金や人も必要ということで、今のコミュニティ放送の状況を考えると難しいところがあると思うので、やはりそういったところをまずは充実させていかなければいけないのかなと思います。ただそのために何が出来るかと言われれば分からないですが、さぬき市ならではのものはPRしていかないといけないと思います。
(委員)	お金や人材が潤沢にあって、民放に負けないような番組を作っていたらそれ以上のことは無いと思いますが、現実として難しいと思います。市民がなぜ見るかといえば、自分が出ていたり、知っている人が出ていれば見るわけで、民放やNHKといわゆるコミュニティ放送番組というのは趣旨がちょっと違うものだと思います。地域に密着していないと見ていただけないと思うので、そういう考えで番組作りに取り組んで欲しいと思います。話は変わりますが、この間学校で広島に平和学習に行きました。なぜ広島まで行ったかという、NHKの番組で、80歳を過ぎた広島の戦争の語り部の番組を見ました。その中であと2、3年もすると語り部の人がいなくなるということを知り、絶対に行かなければと思い行きました。そこでは83歳の方が話をしてくれました。おそらくさぬき市内で昔のことや地域のことをよく知っているという人も80歳を過ぎているような人がほとんどだと思います。あと5年もするとそういう方が地域からいなくなるかもしれないので、たくさんの人に番組を見てもらうということも大切ですが、地域の資料を集めておくということもコミュニティ放送の大切な役割の1つなのではないかと思いますので、そういったことにもぜひ取り組んでいただきたいと思います。
(委員)	以前、紙芝居のようなものを放送していたことがありますよね。ああいう形でその地区その地区に昔から伝わる民話のようなものを残していければ、子供たちにふるさとが残っていくのではないかと思います。それと、答申

	書に市民ディレクターと密にした連携をとありますが、学校支援ボランティアさんとも協力していければ人的な問題も多少解消されるのではないのでしょうか。
(会 長)	一通り委員の皆様の意見を聞かしていただきました。今出た意見につきましても答申に反映させていただいて、取りまとめさせていただいてよろしいでしょうか。
(委 員)	異議なし
(会 長)	次に3（2）の文字放送について意見のある方お願いします。
(委 員)	文字放送を流してもらおうと思っても早くから申請しておかないと流してもらえないことがあります。
(事務局)	申請は放送希望日の10日前までにさせていただくというルールで行っています。文字放送の音声を吹き込みをしたり、画面を作るのに時間がかかるためそのようなルールになっていますが、申請の受付状況等によっては10日以内の申請であっても放送可能であれば受付しています。
(委 員)	文字放送だけ見る人というのは珍しいと思います。やはり1番効果があるのは、視聴者が多いと思われるSCNニュースの間で、民放のCMと同じように流したり、サブリミナル効果ではないですが、音は無くても映像だけを3秒とか5秒とか流すと、気になってニュースのあとの文字放送を見てみようという人も出てくるように思います。そのような工夫をすることでスポンサー放送をお願いしようという気持ちも出てくるのではないのでしょうか。
(事務局)	SCNニュースは30分枠で1日6回放送していますが、その中でその時依頼を受付しているすべてのスポンサー放送を同じように平等に流せるかという不安はありますし、人員の問題や放送のシステム上、そのような工夫は難しいところがあるかと思います。ただ、そういったことも含めまして、何かスポンサー放送を依頼していただけるような魅力ある工夫を検討してみたいと思います。
(会 長)	それでは最後に3（3）その他について意見のある方お願いします。

(委 員)	<p>この間の放送では3月5日の行事を3月3日に案内していたのですが、平成何年から読み上げていました。これは原稿を作成した人の文章を忠実に読んでいるからだと思います。それから教育委員会の生涯学習課から「〇〇講演会がございます。無料ですのでどうぞ皆さんおいで下さい。」という放送がありました。そうしたら有料であれば来なくていいのかという印象を受けました。起案者の原稿を忠実に読んでいますので、聞いていてなぜそのような言い方なのか疑問に感じる時があります。あと、口語体でなく文語体になっているものがあります。読んでいるのはシルバーさんだと思いますが、さぬき市という組織体制のなかで、チェックや修正の体制を整えるべきだと思います。</p>
(委 員)	<p>放送前のチャイムの音が大きいのと放送の間で「ピッ、ピッ」と機械音が出ています。いつも出ているわけではないですが非常に聞きづらい時があります。</p>
(事務局)	<p>パルス性の信号の音は親機から各家庭の音声告知の端末まで繋がっているかどうかを常にチェックするために、弱い電波を出していますが、それがノイズとなって聞こえているものだと思います。</p> <p>少し前に本庁からの放送でチャイム音は大きいと話している言葉が小さいという症状があり、原因ははっきりしていませんが、代替機を設置し通常の音声で放送できるようになったという事例があります。</p>
(委 員)	<p>さぬき市内で情報提供の場所が本庁にあり各支所にありと色々です。そこをもっと統一していくことを検討する必要があるのではないのでしょうか。</p>
(委 員)	<p>災害の時の放送というのが、きちんと系統立てて出来るのかという不安があります。休みの日でもシルバーさんだけでなく、どこか1か所でも職員がいるべきだと思います。</p>
(会 長)	<p>ひとつお聞きして、答申案については今いただいた意見も参考にしながら、事務局ともう少し詰めて完成させたいと思います。答申については23日に大山市長に答申する予定です。</p> <p>それでは最後に(4)その他について事務局の説明を求めます。</p>
(事務局)	<p>その他放送法に基づく報告について説明 今年度から一部工事に着手しておりますが、地域情報課の場所そのものを</p>

	<p>寒川から大川に移転する予定がございまして、現在大川の方で配線工事や照明の交換などを行っております。寒川支所が耐震設計になっていないため、震災時に全く機能しないということではだめですので大川の方に全て移転するという方向性が出ております。ただ、大川のセンターも今、書類の保管場所になっており、書類の持っていき場所に苦慮している状況ですが来年度中には大川に移転する予定になっています。</p>
(委員)	<p>向こうに行って、もう一度寒川に戻って来ることはあるのですか。</p>
(事務局)	<p>一度移転すると、再び寒川に戻るようなことは無いと思います。</p>
(会長)	<p>それでは、時間もまいりましたのでこのあたりで審議を終了したいと思います。</p> <p>2か年に渡りまして番組審議会委員として4回の会をもって色々ご意見をいただきましてありがとうございました。会長としては十分な仕事も出来ずに皆様方にはご迷惑を掛けたと思いますが、この場をかりましてあしからずお許しを賜りたいと思います。</p> <p>委員の皆様方には2年に渡りましてご検討、ご指摘いただいてこれを少なくとも答申することによってさぬき市のコミュニティ放送が一層充実し、市民の期待に応えることに少なからず寄与したのではないかと感じております。また任期終了後も色々な面でさぬき市民として、直接的あるいは間接的に意見を述べ合っよりよい地域作りのために貢献する情報メディアとして巣立っていくよう願いたしまして、言葉は十分ではございませんが皆様方のお力添えに対しまして厚くお礼申し上げます。皆様どうもありがとうございました。</p>